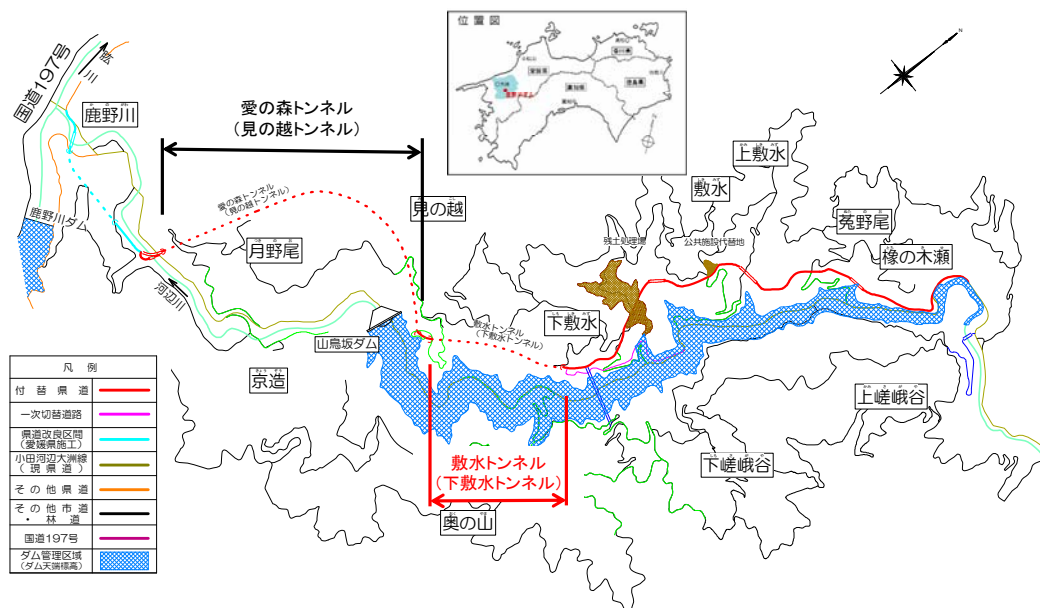


掘削前の先行調査（先行ボーリング調査）により、  
基準値を超える自然由来の重金属等（ヒ素）が検出されました。  
引き続き、封じ込め対策により、適切に対応してまいります。

- 当事務所では、令和2年度に「見の越トンネル工事」で基準値を超える自然由来の重金属等を含む土砂が検出されて以降、令和2年9月18日にお知らせのとおり、下敷水残土処理場での封じ込め（別紙参照）を行っているところです
- また、あわせて、事前に重金属等の有無を確認し、適切に処理を行うため、掘削前に先行ボーリング調査を行っているところです。
- 今般、本事務所発注の「下敷水トンネル工事」において、掘削前の先行ボーリング調査により、今後掘削する土砂の一部に基準値を超える自然由来の重金属等（ヒ素）が含まれていることが確認されましたので、お知らせいたします。

◆ヒ素：0.012mg/L（基準値0.01mg/L以下）

- なお、当該掘削土砂については、先行ボーリング調査の結果を踏まえ、引き続き、流出等の影響がないよう、封じ込めを行います。  
工事にあたっては、引き続き、先行ボーリング調査の結果を踏まえつつ実施してまいります。

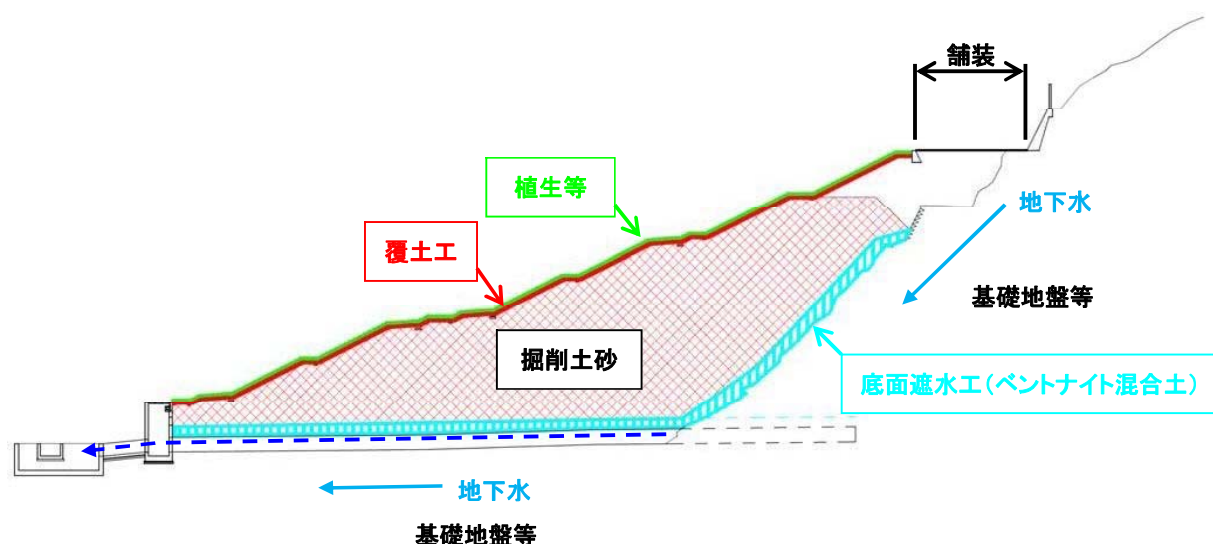


※見の越トンネルは「愛の森トンネル」、下敷水トンネルは「敷水トンネル」が正式名称となっています。

## <掘削土砂の処理方法>

- 下敷水残土処理場で封じ込め：
  - 表面を「覆土工等」で覆い、侵食・飛散を防止、浸透を抑制。
  - 底面を「底面遮水工」※<sup>1</sup>で覆い、掘削土砂を浸透する水と、基礎地盤等の中を流れる地下水を分離。
  - 施工後は、定期的に水質調査を行い、一定期間、状況を監視します。
  
- 既に施工済みの道路構造物内で封じ込め：
  - 表面を「覆土工等」で覆い、侵食・飛散を防止、浸透を抑制。
  - 定期的に水質調査を行い、一定期間、状況を監視します。

## <「底面遮水工」「覆土工」イメージ図>



※1) 底面遮水工：基準値を超過する土砂の底面を、ベントナイト（粘土）等の水を通しにくいもので覆うことにより、掘削土砂を浸透する水が基礎地盤等に浸透することを防止する。